

公衆衛生「医師」って何？

専攻医を体験してアイデンティティを確立した話



公衆衛生ウインターセミナー

令和6年12月14日(土)

名古屋市保健所西保健センター 田邊裕



専門医研修プログラムの実体験

- ほぼコロナ禍であり、実務を研修手帳に当てはめただけ
- 副分野の「産業・環境」について
 - コロナ前に行った事業者への分煙講義
 - コロナ禍の事業所クラスター対策
 - 名古屋市立大学医学系研究科での産業・環境関連講義受講
- 学術活動
 - コロナの初期対応に関すること

0-13-4-2

新型コロナウイルス感染症発生初期における
保健センターでの対応についての報告

今日の内容

1. 専攻医時代の経験談
2. 公衆衛生医師の業務と医師のアイデンティティ
3. 専門医取得の意義

1. 専攻医時代の経験談

「先生、コロナで自宅療養中のAさんが苦しそ
うでSpO2 90%です」

1. そのまま様子見で
2. 急いで入院の手続きをする
3. 救急車を呼ぶ
4. 何とか、「とりあえず酸素吸わせといて」をできるよ
うにする。
→在宅酸素療法を行う。

在宅酸素療法を行う。

- 誰が？
 - 保健所？
 - コロナ患者の往診可能医療機関？
 - 地域のクリニック？
- どうやって？
 - 費用負担は？保険適応は？
 - 誰が機械のセッティングとか、説明とかするの？
 - 酸素流量誰が指示するの？
 - その後の管理は？

色々なハードルを急いでクリアして、
何とか在宅酸素療法ができた！

酸素濃縮器を持って設置しに来てくれた地域のクリニックの先生から、患者さんの家の前で

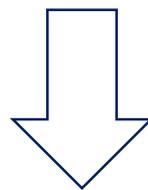
「これは保健所の先生の仕事じゃないよね…」

と言われた。

保健所の先生の仕事って??

地域に同じような人が何人もいるけど、その人達にもできる？

今回見えた課題を解決して、その人達にも在宅酸素ができるようにしよう！



中区の中等症Ⅱ患者に対する在宅酸素療法導入

在宅酸素療法導入実績（中区）

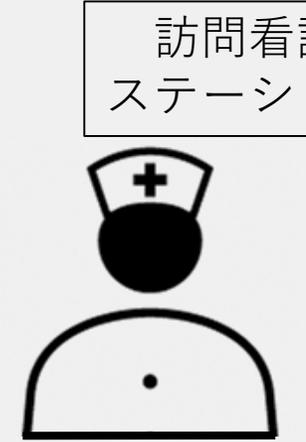
	第4波	第5波
 <p>在宅酸素療法 導入者</p>	13 名	46 名
 <p>医療機関</p>	2 か所	10 か所

医療機関内訳

病院	4か所
有床診療所	1か所
無床診療所	5か所

COVID-19病床のない
外来診療医療機関

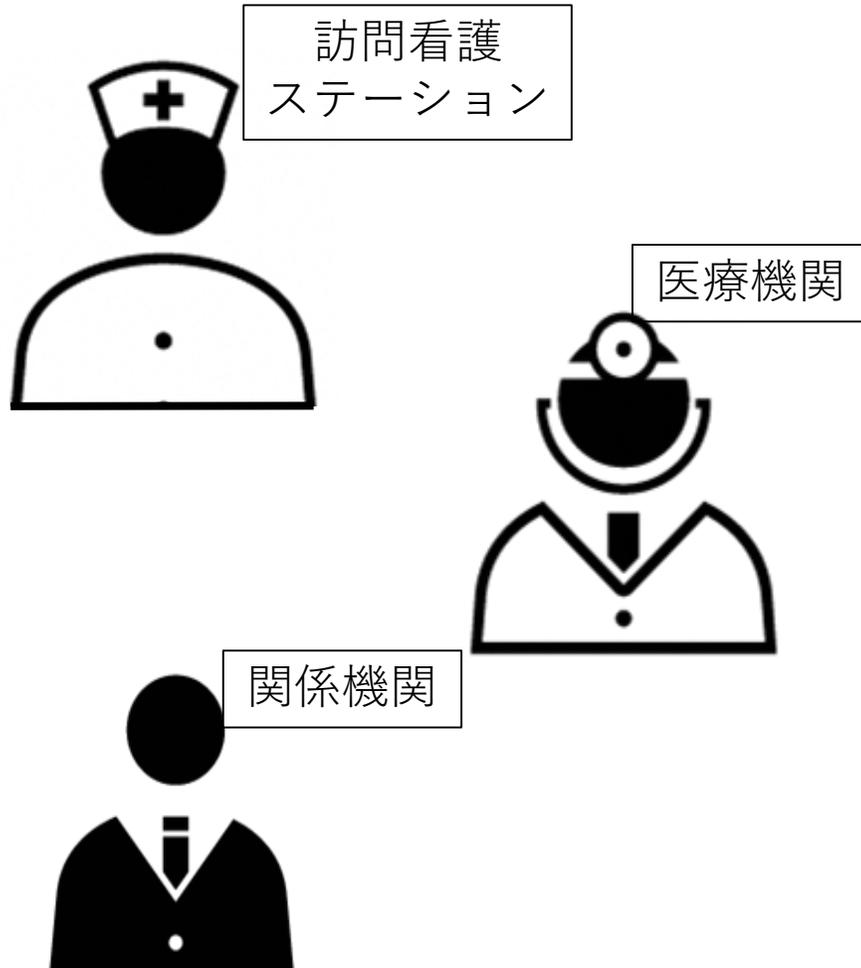
訪問看護介入実績（中区）

	第4波	第5波
 <p>訪問看護 介入者</p>		28 名
 <p>訪問看護 ステーション</p>		6 か所

訪問看護介入開始理由

在宅酸素療法導入者
高齢者
外国人
点滴・抜針

訪問看護体制懇話会開催



第1回 令和3年12月3日

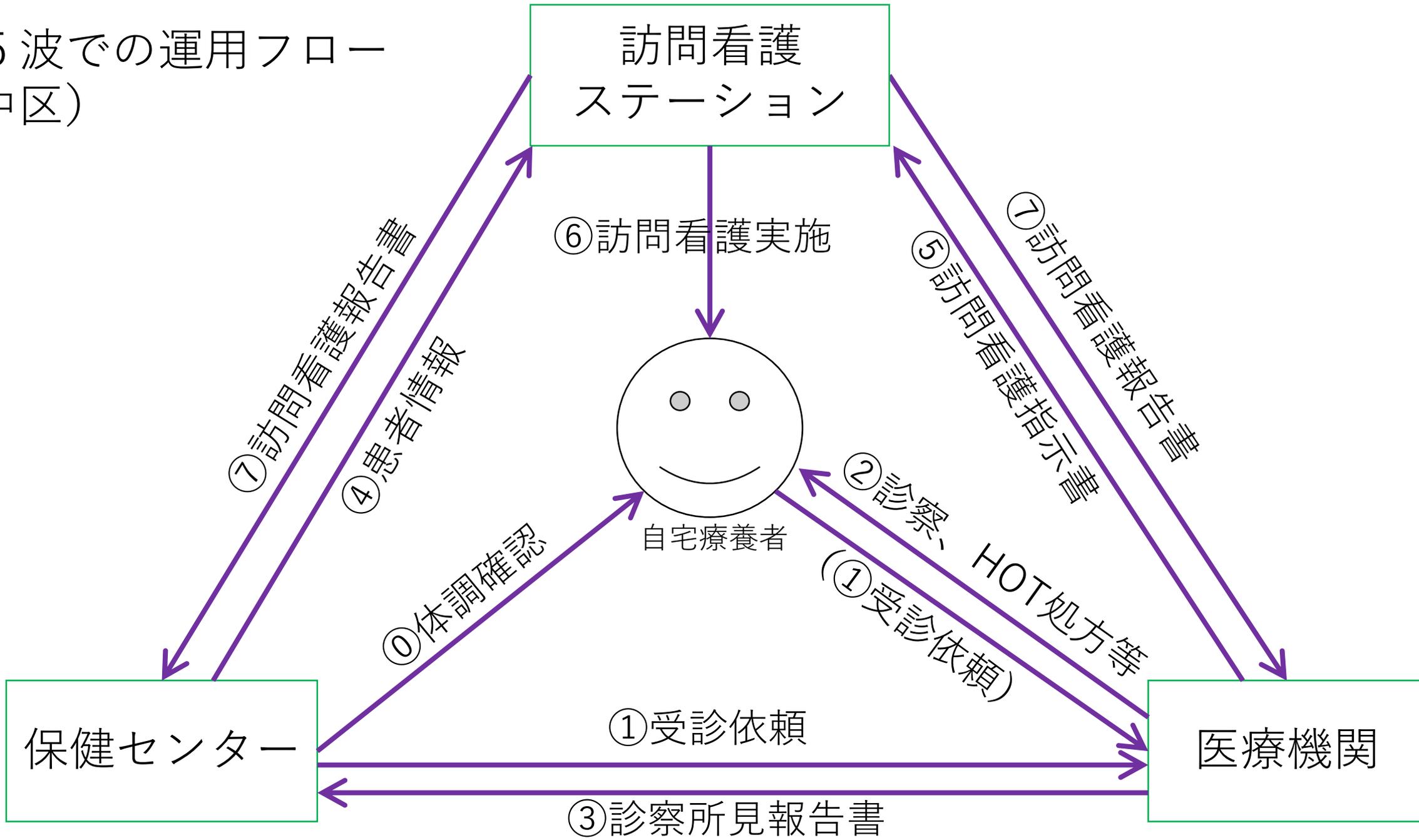
- 自宅療養者に対する訪問看護の概要説明
- 訪問看護の経験、課題提示

第2回 令和4年1月25日

- 訪問看護時の感染対策
- 第6波中区患者に関する検討
- 中和抗体薬投与に関する情報提供

訪問看護ステーション	医療機関(web)	関係団体
A 訪問看護ステーション	H内科・呼吸器科	名古屋市療養サービス事業団
B 訪問看護ステーション	I耳鼻科	
C 看護ステーション	Jクリニック	市新型コロナウイルス感染症対策室
D 訪問看護ステーション	Kクリニック	南保健センター (オブザーバー)
E 訪問看護ステーション	L内科	守山保健センター (オブザーバー)
F 訪問看護ステーション		中保健センター (事務局)
G 訪問看護ステーション(web)		

第5波での運用フロー
(中区)



2. 公衆衛生医師の業務と医師の アイデンティティ

公衆衛生医師の業務

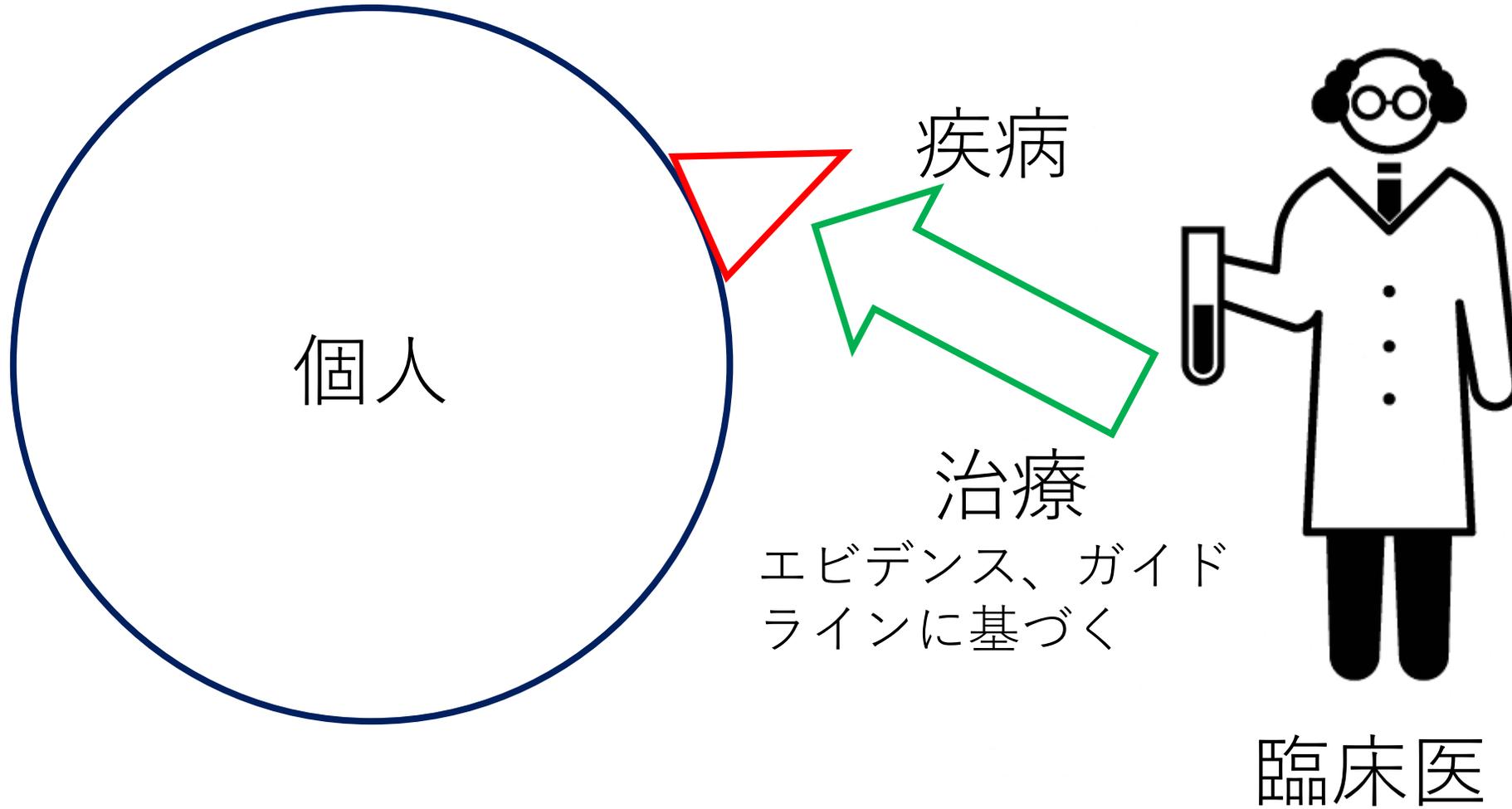


厚生労働省

公衆衛生医師（保健所等医師）確保について

地域の仕組み・ルール・システムづくりを通じて、多くの人たちと連携しながら住民全体の医療や健康を支える、やりがいのある仕事です。

臨床医：疾病を取り除いて、元通りにする

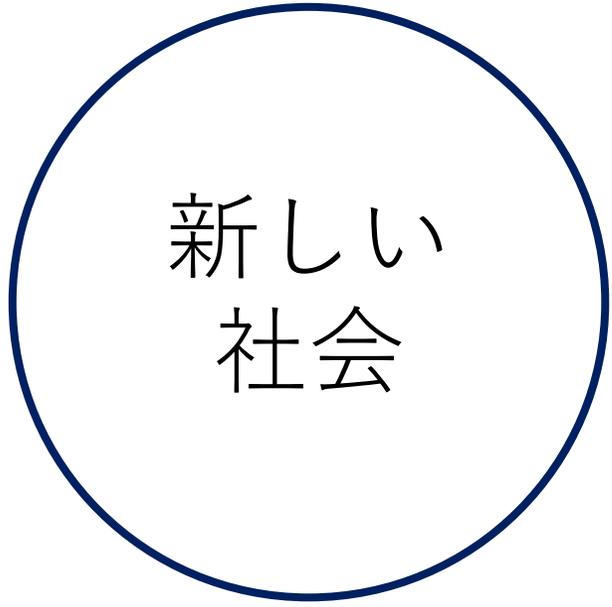


公衆衛生医師：リソースを駆使して新しい状態を作り上げる

これを



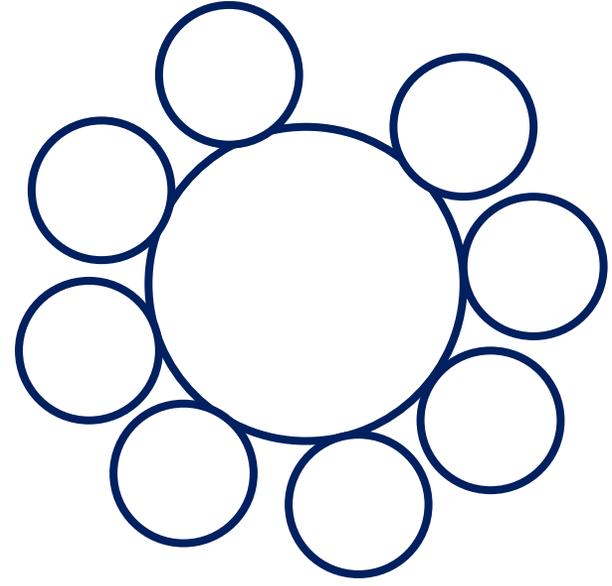
こうしたい



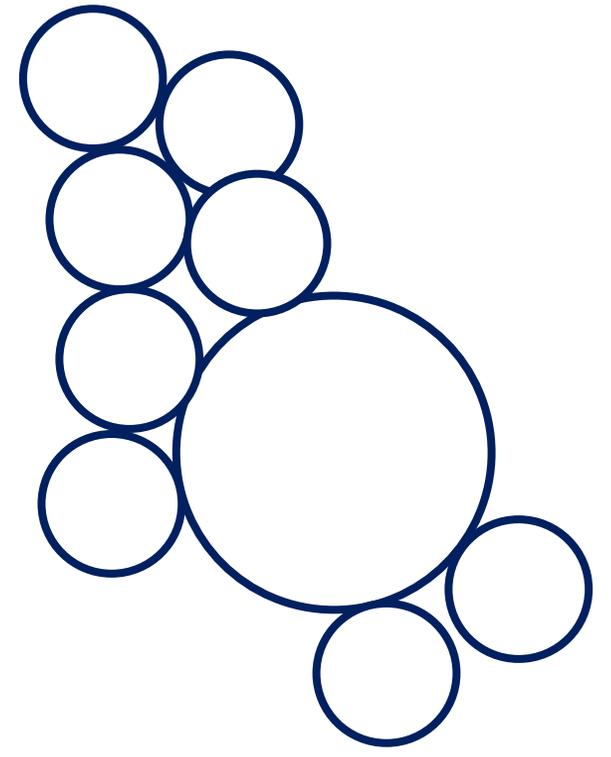
使えるリソース



公衆衛生医師



理想に近い未来



理想と大分異なる未来

8つのコア・コンピテンシー

1. 基礎的な臨床能力
2. 分析評価能力
3. 事業・組織管理能力
4. コミュニケーション能力
5. パートナーシップの構築能力
6. 教育・指導能力
7. 研究推進と成果の還元能力
8. 倫理的行動能力



公衆衛生医師：リソースを駆使して新しい状態を作り上げる

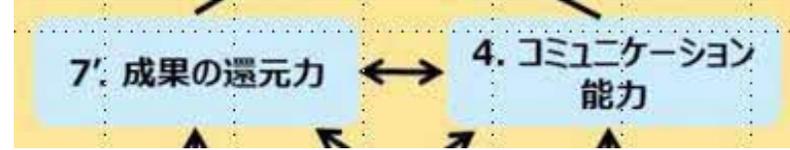
公衆衛生医師



これを



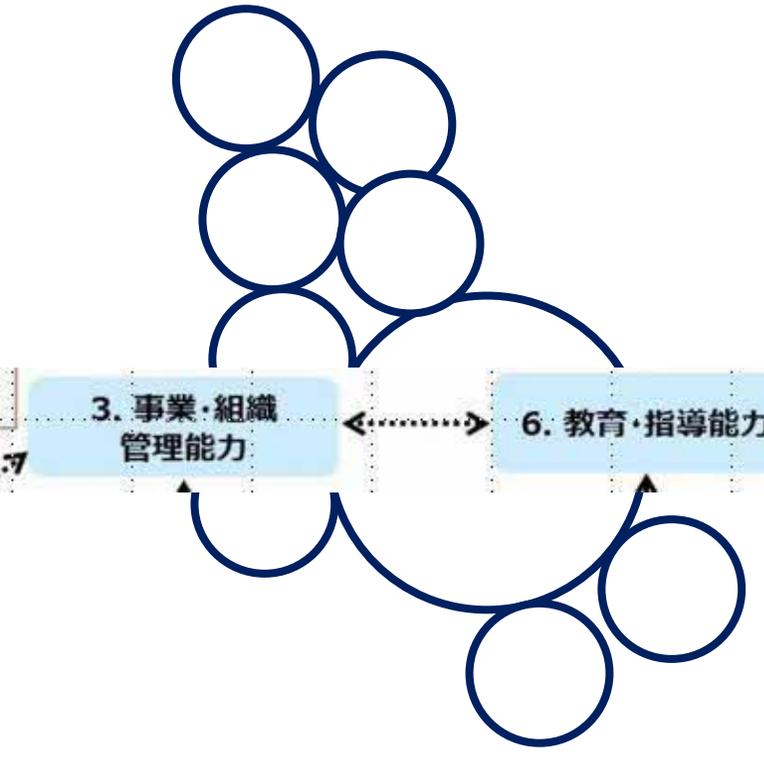
使えるリソース



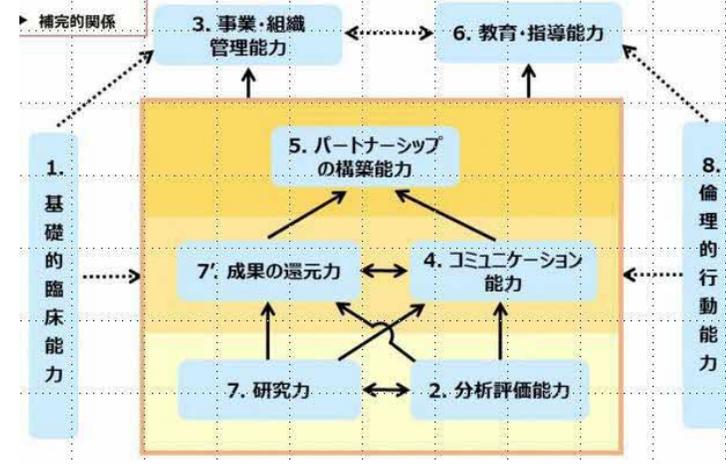
こうしたい



理想に近い未来



理想と大分異なる未来



公衆衛生医師業務の特徴

- 守備範囲が超広い
- 正解が無い
- 自分が動きつつ、他人を動かすことも必要
- 理想を語れる

社会医学系専門医の使命

本専門医は、医師としての使命感、倫理性、人権尊重の意識、公共への責任感を持ち、医学を基盤として保健・医療・福祉サービス、環境リスク管理および社会システムに関する広範囲の専門的知識・技術・能力を駆使し、人々の命と健康を守ることを使命とする。



一般社団法人 社会医学系専門医協会

Japan Board of Public Health and Social Medicine

医師法

第十七条

医師でなければ、医業をなしてはならない。

第一条

医師は、医療及び保健指導を掌ることによつて公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて**国民の健康な生活を確保する**ものとする。

アイデンティティの階層性？

臨床

アイデンティティ

公衆衛生

アイデンティティ

研究

アイデンティティ

医師としてのアイデンティティ

3. 専門医取得の意義

専門医取得して何か良いことありましたか？

- 専門医です、と言えることくらい
- 特別なインセンティブもない
- 専門医を取得する過程で多くの学び、気づき、繋がりを得た
- その意味合いを理解し、改めて「医師」としてアイデンティティを確立できた



PHWS
Public Health
Winter Seminar

公衆衛生 WEB

ウインターセミナー 2024

仲間と考える
ニューノーマル時代の公衆衛生

セミナー企画

2024
12.14 SAT
13:00-16:00

主催 全国保健所長会 / 日本公衆衛生協会
令和6年度 地域保健総合推進事業
「公衆衛生医師の確保と育成に関する調査および実践事業」
分担事業者 宗 陽子 (長崎県中央保健所)
運営委員長 成田智晴 (愛知県新城市保健所)
事務局 一般財団法人 日本公衆衛生協会 若井・斉藤
〒160-0022 東京都新宿区新宿 1-29-8
☎ 03-3352-4284 ✉ entry.phcd@gmail.com

オンライン 参加申込 >>> 

定員 40名 締切 11/23

全国保健所長会 ウインターセミナー 検索

セミナー後懇話会 (参加自由)

公衆衛生「医師」って何？
—専攻医を体験してアイデンティティを確立した話—
田邊 裕 氏
名古屋市保健所西保健センター所長

公衆衛生医師の強みと価値
横山 勝教 氏
香川県中讃保健所所長

グループワーク (50分間)

行政とアカデミアの連携
白井 千香 氏
枚方市保健所所長

専攻医のみなさんへのメッセージ
曾根 智史 氏
国立保健医療科学院 院長

ご清聴ありがとうございました

